



みんなのために働く心を育てる

教務主任 柳瀬 明

2月5日（木）に堀小ふれあいフェスティバル購入物品贈呈式を行いました。今年度の堀小ふれあいフェスティバルでの様々なブースの収益金をもとに、本校の校旗を購入していただきました。式には、有成会より5名の方にご出席いただき、本校児童への贈呈を行いました。

式の様子から、11月の堀小ふれあいフェスティバルの様子が思い出されます。子どもたちが楽しむことができるようになると、様々なゲームコーナーだけでなく、今年度は食事の提供にも一段と力が入り、たくさんの笑顔が溢っていました。そうした一日をつくるため、有成会の方々は、1学期から企画、準備を進めておられます。忙しい日々の合間を縫って、食券や食事の手配、掲示物の制作などを進めてくださいました。前日の準備、当日朝早くからの準備や最後の片付けまで、どの方も役割を担って懸命に子どもたちのために、働いてくださっていたと思うと、その収益を学校のために使っていただくことが本当に有難いことだと感じます。温かいご支援に感謝いたします。



【源会長からのお話】

贈呈式では、有成会の源会長から贈呈する校旗への思いを話していました。「有成会には、保護者だけでなく先生も含まれます。校旗は、そんな私たちのシンボルです。正門で毎日たなびき、みなさんと共にあります。毎日校旗を見て、仲間が共に頑張っていること、たくさんの先輩が頑張ってきたこと、多くの人が見守ってくれていることを感じて、自分も頑張ろうと感じられるといいですね」と、温かい言葉で伝えてくださいました。厳しい外の寒さが少し和らぎました。

そんな校旗の下に集う子どもたちの暮らしを振り返ってみると、寒い中でも頑張っている子どもたちの姿が思い出されます。冬季の朝活動では、高学年を中心に校舎敷地内の除雪に取り組んでいる子どもがいます。下学年が通りやすいように道幅を広げたり、凍って固くなっている氷混じりの雪を碎いたり、除雪車が高く積み上げた雪山を崩したりと、役立ちを考え、体をかけて取り組んでいます。きっと、そうした姿の背景には、日頃から地域のために除雪する家族や地域の方々の姿があるからだと思います。そのような家族や地域の方々の姿を鑑に、働くことへの意欲を高めたり、なりたい自分の姿を想像したりしながら、堀川小学校の高学年としての役割を果たす子どもたちなのだと感じます。除雪する高学年の横を通る下学年からは、自然と「ありがとう」という言葉が出てきます。聞いた高学年の子どもたちは、嬉しさを感じながらも、その表情を引き締める様子に、力強さと積み重ねてきた取組への自信を感じます。

このように、子どもたちは、学校だけでなく、地域、家庭の中で、様々な人との思いと姿にふれ、たくさんの支えの中で育っています。そのような地域や有成会の皆様の背中を見て、子どもたちは目当てをもって確かな歩みを続けながら、素敵なお大人になっていくのだと思います。これからもそんな子どもたちの成長に期待し、伸びようとする子ども一人ひとりを支えていきます。



【ゲームのシールを貼る仕事】



【雪山を崩す子ども】

2月の行事予定

- 5日（木）堀川チャレンジ活動
 6日（金）中学校新入生説明会
 11日（水）※建国記念の日
 12日（木）委員会活動（4年生見学）
 14日（土）学習の発表会・家庭教養講座
 16日（月）振替休業日
 17日（火）避難訓練 安全点検
 17日（火）～20日（金）
 教育相談日
 19日（木）第4回学校運営協議会
 20日（金）集金振替日
 薬物乱用防止教室（5, 6年生）
 23日（月）※天皇誕生日
 24日（火）～27日（金）
 学習のたしかめ週間



※状況によっては、変更する場合もあります。

3月の行事予定

- 2日（月）委員会活動引継ぎ集会
 5日（木）堀川チャレンジ活動（3年生見学）
 避難訓練
 6日（金）卒業を祝う集会
 近隣ファミリー会・全校集団下校
 7日（土）資源回収
 11日（水）卒業証書授与式予行練習
 12日（木）委員会活動（5年生のみ）
 安全点検
 16日（月）6年生修了式・給食最終日
 卒業式前日準備
 17日（火）卒業証書授与式
 20日（金）※春分の日
 24日（火）令和7年度修了式
 25日（水）学年末休業開始
 27日（金）お別れの会
 （退職・異動する教職員とのお別れの会です）



つながるくらし

1年3組 白澤 真優

4月に入学した1年生の子どもたちは、3学期までに自分でできることができることがたくさん増えました。1年生ながらに、自分のくらしを自分でつくろうとする姿が様々な場面で見られるようになりました。朝活動もまさにその一つです。

朝活動が始まると、Aさんは、真っすぐに1年多目的室にある黒板へと向かいます。Aさんは、2学期から1年多目的室の黒板を整えており、両手で全身の力をかけて、ゆっくりと黒板消しを動かしながら丁寧に文字を消したり、丁寧な字で日付を書いたりしています。

ある朝活動のことです。いつものように黒板に日付を書いていたAさんが、その下にいつもはない文字を付け足していました。書き終えた文字を見てみると「こんどは、学しゅうのはっぴょうかいです。みなさん（原稿を）みづによめますか」と書かれていました。なぜその言葉を黒板に書こうと思ったのかAさんに尋ねてみると「最近、1年多目的室で学習の発表会の練習をしている1年生の仲間がたくさんいて、この場所でみんながんばっていると思うから。私も学校でも家でも学習の発表会の練習をしているし、みんなが見てくれるといいなと思って」と真剣な表情でメッセージを書きたくなつた思いを教えてくれました。自分と同じように学習の発表会に向けて練習に励む仲間の姿を見たAさんは、仲間の思いに共感しながら、学習の発表会で1年間のがんばりが伝わるものになるようにと自分のできることを考え、このように書き表したということが分かりました。また、このようにメッセージを書こうと思ったのは、教室近くの階段の踊り場に、上級生が毎日書いているメッセージ黒板を見ていたことがきっかけだったそうです。Aさんのくらしの様々な場面がこの言葉につながり、先にある学習の発表会に心を寄せながら、できることを進んで行っているAさんです。

Aさんの姿から、子どもたちは、くらしの中の様々な場面から自分でできることを増やし、自分のくらしづくりを力強く進めようとしていることを私自身学びました。一人ひとりの歩みは違っていますが、それもその子らしさが表れるものだと思います。多くのつながりの中で、子ども自身がくらしをつなぎ、力をぐんぐん伸ばしていく子どもたちを、これからも支え続けていきたいと思います。



【黒板にメッセージを書く Aさん】